

例 言

1 本書は、広島県教育委員会が、平成29年度に国庫補助を受けて実施した県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）事業に係る調査成果の報告書である。

2 本事業は、道路建設・住宅建設・農業基盤整備等、今後急速に開発が進展すると予想される地域及び既に開発計画が立案されている地域について、遺跡の分布調査（現地踏査及び試掘・確認調査）を行い、保存対策に資する目的で実施したものである。

具体的には、①大規模開発事業・広域開発事業・重要遺跡の取扱いなど、市町教育委員会（以下「市町教委」という。）が単独で対応することが困難な業務への対応、②専門職員未配置の市町教委に対する指導・助言・援助の観点から、各開発事業者等あるいは市町教委からの協議に基づいて県内各地の開発計画地内の現地踏査や試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無、範囲、内容等の確認を行うとともに、保存方法に関する協議を行った。

3 試掘地点範囲図・試掘坑配置図の原図は、各開発事業者から提供された地形図・工事平面図を使用した。

なお、工事平面図については、原則として試掘当時のものを使用しているため、図中の開発事業範囲や工事設計等は、その後変更されている場合がある。

4 本事業に係る現地調査から報告書作成に至る業務は、広島県教育委員会事務局管理部文化財課が行った。担当者は次のとおりである。

現地調査・所見作成（平成29年度）西村直城（課長補佐（兼）埋蔵文化財係長）、平川孝志（文化財保護主事）、沖 憲明（指導主事）

資料整理・報告書編集（平成30年度）沖 憲明（埋蔵文化財係長）、平川孝志（文化財保護主事）、中山愉希江（指導主事）、吉田瑠香也（主任）

5 調査の実施に当たっては、各開発事業者、地権者及び関係市町文化財保護担当部局等の協力を得た。

6 本報告書作成に係る資料類については、図面・写真類は広島県教育委員会事務局管理部文化財課（広島市中区基町9番42号）、出土遺物は広島県立埋蔵文化財センター（広島市西区観音新町四丁目8番49号）で保管している。

目 次

第1章 事業の概要	1
第2章 試掘・確認調査の成果	
1 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る試掘調査（要試掘地点No.1, 2, 3, 7）	4
2 東広島・安芸バイパス建設事業に係る試掘調査（要試掘地点No.27,28）	25
3 三田尾地区急傾斜地崩壊対策工事に係る試掘調査	33
報告書抄録	

挿 図 目 次

第1図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）	5
第2図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.1）試掘坑位置図（1：2,000）	6
第3図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.2, 3）試掘坑位置図（1：1,500）	9
第4図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.7）試掘坑位置図（1：1,000）	12
第5図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.1）01-09T～01-14T土層断面図（1：40）	16
第6図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.1, 2）01-15T～02-02T土層断面図（1：40）	17
第7図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.3）03-01T～03-05T土層断面図（1：40）	18
第8図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.3）03-06T～03-12T土層断面図（1：40）	19
第9図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.7）07-01T～07-04T土層断面図（1：40）	20
第10図 東広島・安芸バイパス建設事業計画に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）	25
第11図 東広島・安芸バイパス建設事業計画地（要試掘地点No.27）試掘坑位置図（1：1,000）	26
第12図 東広島・安芸バイパス建設事業計画地（要試掘地点No.28）試掘坑位置図（1：500）	28
第13図 東広島・安芸バイパス建設事業計画地試掘坑4T～8T土層断面図（1：40）	30
第14図 三田尾地区急傾斜地対策工事に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）	33
第15図 三田尾地区急傾斜地対策工事計画地試掘坑位置図（1：500）	34
第16図 三田尾地区急傾斜地対策工事計画地試掘坑土層断面図（1：40）	35

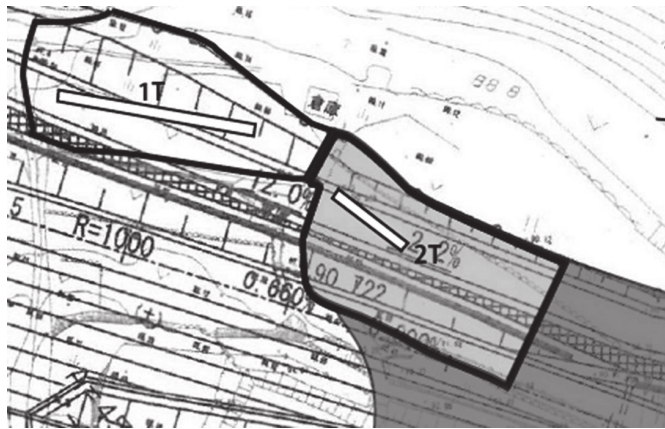
表 目 次

表 1	平成29年度に確認した埋蔵文化財包蔵地……………	1
表 2	平成29年度に実施した現地踏査等の概要……………	1
表 3	平成29年度に実施した試掘調査等の概要……………	3
表 4	一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.1）試掘坑所見……………	13
表 5	一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.2）試掘坑所見……………	14
表 6	一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.3）試掘坑所見……………	14
表 7	一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.7）試掘坑所見……………	15
表 8	東広島・安芸バイパス建設事業計画地（要試掘地点No.27）試掘坑所見……………	29
表 9	東広島・安芸バイパス建設事業計画地（要試掘地点No.28）試掘坑所見……………	30

図 版 目 次

図版 1	a 01-09 T（南東から）	b 01-10 T（西から）……………	21
	c 01-11 T（東から）	d 01-12 T（西から）	
	e 01-13 T（南から）	f 01-14 T（東から）	
	g 01-15 T（北西から）	h 01-16 T（西から）	
図版 2	a 01-17 T（西から）	b 01-18 T（西から）……………	22
	c 01-19 T（北東から）	d 01-20 T（北から）	
	e 02-01 T（北東から）	f 02-02 T（南東から）	
	g 03-01 T（南西から）	h 03-02 T（北から）	
図版 3	a 03-03 T（北西から）	b 03-04 T（南東から）……………	23
	c 03-05 T（南から）	d 03-06 T（北から）	
	e 03-07 T（南西から）	f 03-08 T（南東から）	
図版 4	a 03-09 T（南西から）	b 03-10 T（南東から）……………	24
	c 03-11 T（北西から）	d 03-12 T（南東から）	
	e 07-01 T（南西から）	f 07-02 T（南西から）	
	g 07-03 T（南から）	h 07-04 T（西から）	
図版 5	a 1 T（北から）	b 2 T・3 T（南西から）……………	31
	c 2 T（北西から）	d 2 T（南西から）	
	e 3 T（北西から）	f 3 T（南西から）	
	g 4 T（西から）	h 5 T（西から）	
図版 6	a 6 T（北東から）	b 6 T（北西から）……………	32
	c 7 T（西から）	d 8 T（北西から）	
	e 8 T（北西から）	f 9 T（北から）	
	g 9 T（西から）	h 10 T（北から）	
図版 8	a 最高所の郭（北西から）	b 北西側の郭（南東から）……………	36
	c 北西側の郭（北西から）	d 尾根状部分（南から）	
	e 1 T（西から）	f 2 T（南から）	

試掘坑位置図凡例



-  試掘坑
-  試掘調査により確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲
-  既周知の埋蔵文化財包蔵地
-  試掘調査の結果埋蔵文化財包蔵地ではないと確認した範囲

第1章 事業の概要

1 平成29年度に実施した分布調査の概要について

平成29年度に実施した、道路建設等の各種開発事業に先立つ現地踏査や現地協議等は、表2に掲げた39件である。

また、平成29年度に実施した試掘・確認調査は、表3に掲げた11地点、合計79,064㎡である（市町教育委員会支援分を含む）。

これらの分布調査の結果、表1に掲げた2か所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。試掘調査の内容や確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲等の詳細については、次章に記載する。

表1 平成29年度に確認した埋蔵文化財包蔵地

遺跡名	市町名	時代	種類	面積（㎡）	確認方法	開発事業種類	備考
野原山城跡	広島市	中世	城跡	3,600	試掘調査	道路建設	*
上ノ城跡	坂町	中世	城跡	1,117	試掘調査	道路建設	*

※は、既周知埋蔵文化財包蔵地の範囲拡大・確定

表2 平成29年度に実施した現地踏査等の概要

調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者	用務内容
三次市君田町	道路建設事業	三次市	4/10	平川孝志	市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
大竹市小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	4/17	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（本調査前現地協議）
三次市君田町	道路建設事業	三次市	4/18	平川孝志	市町による開発事業対応（測量調査）を支援
庄原市西城町	道路建設事業	国土交通省	5/12	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査前現地協議）
大竹市小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	6/2	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査前現地協議）
福山市鞆町	港湾整備事業	広島県	6/6	沖 憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
広島市安芸区	道路建設事業	国土交通省	6/7	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査前現地協議）
庄原市西城町	道路建設事業	国土交通省	6/20	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査前現地協議）
大竹市小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	6/21	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（本調査前現地協議）
庄原市西城町	道路建設事業	国土交通省	7/10～7/14 7/18～7/21	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査実施）
大竹市小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	7/11	西村直城	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（調査状況確認）
大竹市小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	7/14	西村直城	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（調査終了確認）
海田町	個人住宅	個人	7/20	沖 憲明	専門職員未配置市町による開発事業対応（調査立会）を支援

調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者	用務内容
大崎上島町	個人住宅	個人	7/31	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
福山市新市町	尾市第1号古墳ほか	福山市	8/4	平川孝志	重要遺跡取扱い協議
大崎上島町	個人住宅	個人	8/8	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（試掘調査）を支援
府中市元町	備後国府跡発掘調査	府中市	8/9	沖 憲明	重要遺跡取扱い協議
神石高原町	電話	民間企業	9/11	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（試掘調査）を支援
呉市蒲刈町	その他開発	呉市	9/13	平川孝志	市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
大竹市玖波	道路建設事業	広島県	9/19	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
熊野町 江田島市能美町	宅地造成 太陽光発電	民間企業 民間企業	9/27	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
熊野町	宅地造成	民間企業	9/29	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（試掘調査）を支援
安芸高田市 吉田町	安芸高田市		9/29	平川孝志	重要遺跡取扱い協議
熊野町	宅地造成	民間企業	10/10	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（試掘調査）を支援
福山市 津之郷町	道路建設事業	広島県	10/11	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（本調査前現地協議）
広島市安芸区	道路建設事業	国土交通省	10/19～ 10/20	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査実施）
安芸郡 坂町坂東	急傾斜地対策事業	広島県	10/27	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査実施）
竹原市下野町	電気	民間企業	11/22	平川孝志	市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
熊野町	宅地造成	民間企業	12/5～ 12/6	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（試掘調査）を支援
神石高原町	その他開発	神石高原町		平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
福山市鞆町	港湾施設整備	広島県	12/12	沖 憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
東広島市高屋町	圃場整備事業	広島県	12/13	沖 憲明 平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査前現地協議）
広島市安芸区	道路建設事業	国土交通省	12/19	沖 憲明 平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（試掘調査）を支援
広島市安芸区 安芸郡坂町坂東	道路建設事業 急傾斜地対策事業	国土交通省 広島県	1/12	沖 憲明 平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
東広島市 高屋町	圃場整備事業	広島県	1/16, 1/18, 1/19, 1/24～ 26, 1/30, 1/31	平川孝志	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査実施）
熊野町 江田島市能美町 大竹市栗谷町	電気 電気 電話	民間企業 民間企業 民間企業	2/16	平川孝志	専門職員未配置市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
廿日市市大野	河川改修事業	広島県	2/21	平川孝志	市町による開発事業対応（現地踏査）を支援
安芸高田市 甲田町	甲立古墳群発掘調査	安芸高田市	3/2	平川孝志	重要遺跡取扱い協議
三原市本郷町	工業団地造成	広島県	3/14	平川孝志	市町による開発事業対応（現地踏査）を支援

表3 平成29年度に実施した試掘調査等の概要

No	用務地	調査原因	原因者	調査対象 面積 (㎡)	調査期間	担当者名	用務内容
1	庄原市西城町	道路建設事業	国土交通省	18,660	7/10～7/14 7/18～7/21	平川孝志	4地点の試掘調査を実施したが、埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
2	豊田郡 大崎上島町	個人住宅	個人	297	8/8	平川孝志	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
3	安芸郡熊野町	宅地造成	民間企業	930	10/10	平川孝志	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
4	広島市安芸区	道路建設事業	国土交通省	2,420	10/19～10/20 12/19	平川孝志 沖 憲明	2地点の試掘調査を実施し、1地点で埋蔵文化財包蔵地を確認した。1地点では、埋蔵文化財包蔵地では確認できなかった。 ＜範囲を確定した遺跡＞ 野原山城跡（中世、城跡、3,600㎡）
5	安芸郡坂町	急傾斜地崩壊 対策工事	広島県	1,117	10/27	平川孝志	1地点の踏査及び試掘調査を行い、埋蔵文化財包蔵地を確認した ＜範囲を確定した遺跡＞ 上ノ城跡（中世、城跡、1,117㎡）
6	安芸郡熊野町	宅地造成	民間企業	1,600	12/5～12/6	平川孝志	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
7	東広島市高屋町	圃場整備事業	広島県	54,040	1/16, 1/18, 1/19, 1/24～ 26, 1/30, 1/31	平川孝志	市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
合計		3事業 (7事業)		22,197 (79,064)			7地点（11地点）の試掘調査を実施、埋蔵文化財包蔵地2箇所を確認

※「合計」の項のカッコ内は、市町教育委員会の支援として実施した試掘調査の実績を合わせた値

第2章 試掘・確認調査の成果

1 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る試掘調査

(要試掘地点No.1・2・3・7)

所在地：庄原市西城町高尾・小鳥原

調査目的：一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲の確認

開発事業者：国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

調査年月日：平成29年7月10日～7月14日，7月18日～21日

調査対象面積：18,660㎡

調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調査概要：

本年度の試掘調査は，要試掘地点11か所のうち，No.1・2・3・7を対象として実施した。なお，要試掘地点No.1の南半については平成27年度に試掘調査を実施している（1T～8T）ことから，連続した番号を振ることとし，どの地点の試掘坑であるかを確認しやすくするため，例えば要試掘地点No.1の9番目の試掘坑は“01-09T”，要試掘地点No.2の1番目の試掘坑は“02-01T”というように表記することとした。

以下，要試掘地点ごとに概要を示す。

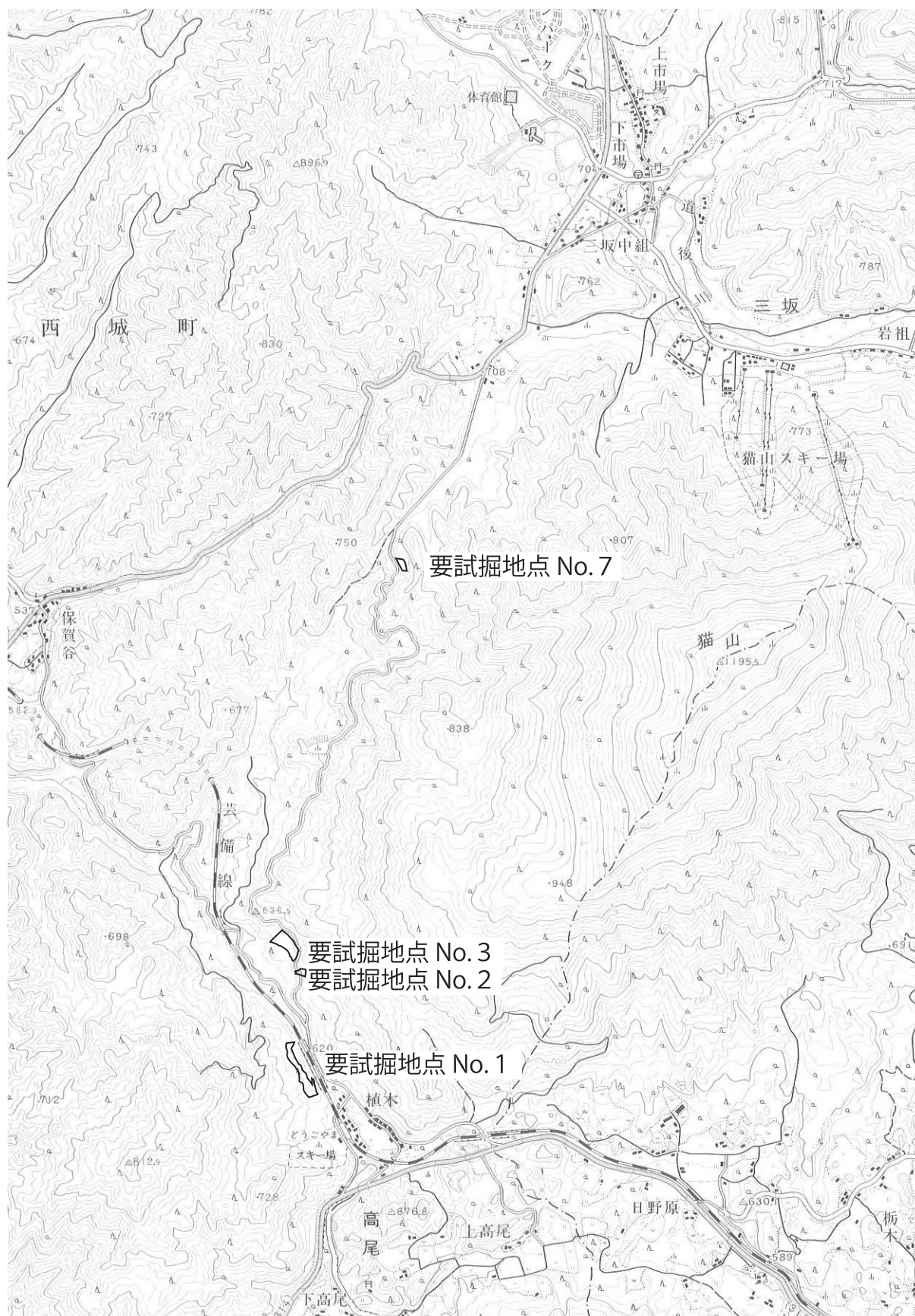
(1) 要試掘地点No.1

要試掘地点No.1は，JR芸備線道後山駅の北側にある。西から東に向かって下る緩斜面に位置し，範囲内には傾斜が緩やかな場所のほか，細い尾根や沢などが西から東に向けて延びる場所がある。西から東に向かって緩やかに下る緩斜面が集落等の立地に適していることから，試掘調査を実施した。なお，要試掘範囲の南半は平成27年度に試掘調査（1T～8T）を実施しており，埋蔵文化財包蔵地は確認されなかった。

今年度の試掘調査では，等高線に平行または直交する試掘坑を12箇所設定し，掘削を行った。基本層序は，Ⅰ層＝黒色土（黒ボク），Ⅱ層＝暗褐色土（漸移層），Ⅲ層＝黄褐色～橙褐色土（三瓶浮布火山灰層か），Ⅳ層＝Ⅲ層とほぼ同色の粘質土層である。

01-09T

01-09Tは，今年度試掘調査区南端付近，西から東へ延びる尾根の先端付近に設定した等高線にほぼ直交する試掘坑である。東側約10mから東側はJR芸備線の線路のため大きく削られている。



腐植土下に黒色土（２層），暗褐色土（３層）の下に橙色砂質土（４層），黄褐色粘土（５層），黄褐色シルト（６層）が堆積する。３層及び４層上面で精査を行ったが，遺構は検出できなかった。また，遺物は出土しなかった。

01-10T

01-10Tは，01-09Tを設定した尾根上，要試掘範囲西端に近い緩斜面に設定した等高線とほぼ直交する試掘坑である。

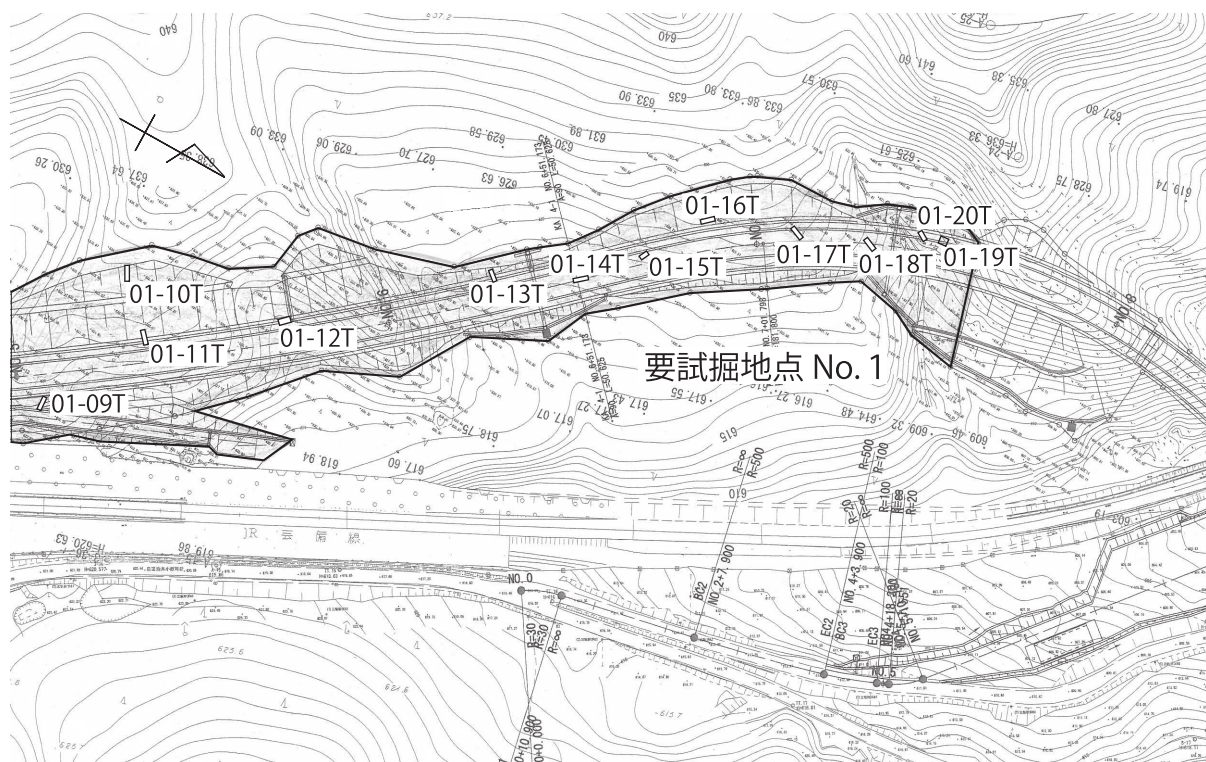
腐植土の下は黒色土（２層）・暗褐色土（３層）が堆積している。その下に橙色砂質土（５層）・明褐色砂質土（６層）が堆積している。５層から明黄褐色土の落ち込み（４層）が認められたが，斜め方向に落ち込むこと，断面が不整形であることから，風倒木痕と判断した。６層の下には黄褐色～橙褐色の粘質土が堆積している。

５層上面で精査を行ったが，遺構は確認できなかった。また，遺物は出土しなかった。

01-11T

01-11Tは，01-09T，01-10Tと同じ尾根上の先端付近に設定した等高線にほぼ直交する試掘坑である。

腐植土下は黒色土～黒褐色土（２層，３層）が堆積している。01Tと同様に明褐色から黄褐色の層が堆積しており，連続した堆積であると考えられる。４層上面で精査を行ったが，遺構は検出できなかった。また，遺物は出土しなかった。



第2図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.1）試掘坑位置図（1：2,000）

01-12T

01-12Tは、西から東に延びる2本の尾根に挟まれた谷部に、尾根を横切るような方向に設定した試掘坑である。

腐植土の下に黒色土（2層・4層）が1.5m堆積しており、間に黒褐色土（3層）を挟む。黒色土下には暗褐色土、さらに黄褐色土～明黄褐色土（6層・7層）が堆積している。このうち7層には30cm大の石を多く含んでおり、谷筋を水が流れることがあったと考えられる。3層上面及び5層上面で精査を行ったが、遺構は確認できなかった。また、遺物は出土しなかった。

01-13T

01-13Tは、西から東に向けて下る緩斜面に、等高線に直交して設定した試掘坑である。

腐植土の下に黒色土（2層）が堆積し、その下には黒褐色土（3層）・暗褐色土（4層）が堆積するが、3・4層には30～50cm大の石を多く含む。その下には黄褐色土（5～7層）が堆積する。3層上面で精査を行ったが、遺構は確認できなかった。また、遺物は出土しなかった。3・4層に含まれた石は角が取れた状態であり、試掘坑の南側には沢があることから、かなり広い範囲で水が流れていた可能性がある。

01-14T

01-14Tは、01-13Tに連続する緩斜面に、等高線にほぼ平行して設定した試掘坑である。約7m北東に、直径約3mの円形の落ち込みがあり、形状・規模から、近世以降の炭窯と考えられる。

腐植土の下に黒色土（2層）が堆積しており、その下の暗褐色土（7層）には、下層の橙色土をブロック状に含んでいる。下には橙色土（8層～10層）が堆積しており、地表面下約2mで、50cm大の岩が露出している。

7層上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

01-15T

01-15Tは、西から東へ緩やかに下る緩斜面に、等高線に斜行して設定した試掘坑である。01-13T・01-14T付近がやや谷部になっているのに対し、北側はやや台状に高くなっており、台状部分の斜面に設定した。

腐植土の下に黒色土（2層）が堆積し、暗褐色の漸移層（3層）の下に橙色～黄橙色土（4～7層）が堆積している。4層上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

01-16T

01-16Tは、西から東へ向かって下る緩斜面のうち、やや台状に高くなった部分に等高線に平行して設定した試掘坑である。北側に、水路状にわずかに凹んだ部分があり、上流からの土砂が流れた痕跡がある。常時水が流れている様子はなく、大雨の際にのみ水が流れるようである。

腐植土下に黒色土（２層）が堆積し、黒褐色から暗褐色土（３・４層）の漸移層の下に、褐色土から明黄褐色土が堆積している（５～７層）。４層上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

01-17T

1-17Tは、西から東へ向かって下る緩斜面のうち、台状に高くなった部分の北端付近に等高線に直交するように設定した試掘坑である。

腐植土の下に黒色土（２層）、暗褐色土（３層、漸移層）が堆積し、その下に橙色～明黄褐色土が堆積している。３層及び４層上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

01-18T

01-18Tは、01-16T・01-17Tを設定した台状部分の北端から、南から北に下る緩斜面に等高線に直交して設定した試掘坑である。

腐植土下に黒色土（２層）、暗褐色土（３層、漸移層）が堆積し、その下に明黄褐色土～褐色土が堆積している。３層上面及び４層上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

01-19T

01-19Tは、要試掘範囲の北端、西から東に下る沢に面した緩斜面に設定した試掘坑である。西・北は急斜面である。付近の地表面には鉄滓が散乱しており、斜面上からの転落は考えられないことから、製鉄遺跡の存在が想定された。地下の遺構の配置が推測できなかったことから、近接した２本の試掘坑（01-19T・01-20T）を設定した。

01-19Tは、腐植土・黒色土の下に、試掘坑の南半分に赤褐色土が堆積している。赤褐色土の厚さは約10cmで、北に向かって下っていくようである。地表面では鉄滓が多く散乱していたが、掘削した結果、炭化物が出土したのみで、鉄滓は出土しなかった。

近接して設定した01-20Tは、腐植土・黒色土下に黄褐色土層（３層）、その下に黒色土（５層）が堆積している。３層は造成土の可能性がある。遺物は３層上面で精査を行ったが、遺構は検出されなかった。また、遺物は出土しなかった。

(2) 要試掘地点No.2

要試掘地点No.2は、要試掘地点No.3の南方約50mに位置する。東から西へ向けて下る緩斜面であり、中央を県道444号線が南北に分断している。県道を挟んで斜面上（東）側に２本、下（西）側に１本を予定したが、近世以降のものと考えられる炭窯や流路の痕跡などがあり試掘坑を設定する場所が確保できなかったことから、東側の試掘坑は１本だけ掘下げた。

要試掘地点東部の南側には沢状の窪みがある。現状では水は流れていないが、一部で大きく陥没した部分があり、水が流れた時期があったと考えられる。また、東部の北側には径3.3mの円形の落ち込みが確認できる。規模・形状から近世以降の炭窯と考えられる。

02-01 T

02-01 Tは、県道の下9.7mの緩斜面に等高線に、直交して設定した。

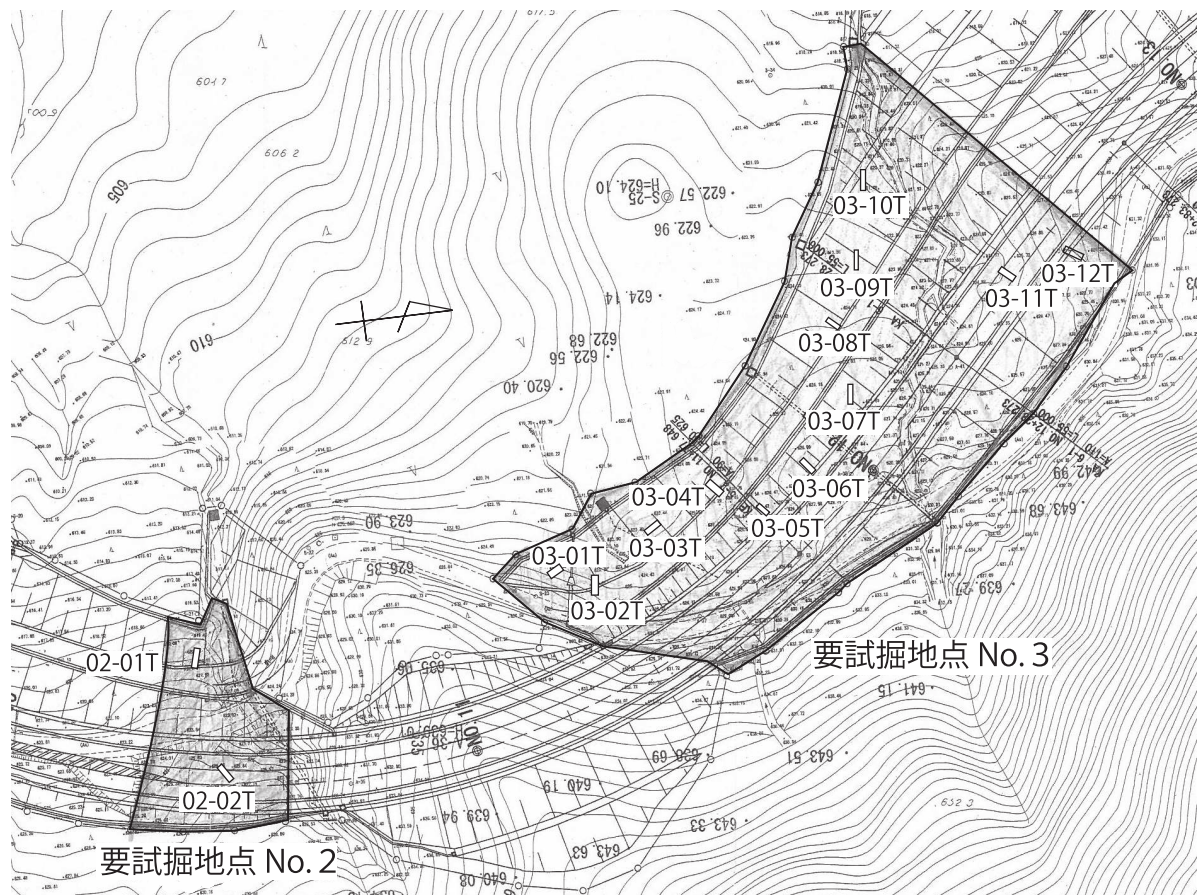
腐植土下には黒色土が堆積しており、間に暗褐色土（3層）を挟む。黒色土の下には黄褐色土が堆積。30～60cm大の岩を多く含む層の下に青灰色のシルト層となる。暗褐色土層（3層）及び黄褐色土層（6層）上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

02-02 T

02-02 Tは、要試掘地点No.2の東部の緩斜面に、等高線に直交して設定した試掘坑である。腐植土下の黒色土（2層）下に暗褐色土（3層）が堆積するが、褐色土は試掘坑北側では確認できるが、南側断面では堆積しておらず、約2m離れた場所に位置する炭窯を築造する際に移動した土である可能性がある。暗褐色土・褐色土下ににぶい黄褐色土・黄褐色土（6層以下）が堆積している。3層上面及び7層上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

(3) 要試掘地点No.3

要試掘地点No.3は、東から西に向かって下る斜面に位置する。要試掘範囲の東側は現道を境に急斜面であるが、要試掘範囲付近は傾斜が緩やかで、要試掘範囲の南北に西流する沢



第3図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.2，3）試掘坑位置図（1：1,500）

があり、その間は比較的安定した地形であると考えられた。

03-01 T

03-01 Tは、要試掘範囲南西端付近に、等高線にほぼ直交して設定した。

約6 m南方に県道446号線が通っており、県道建築の際の造成土が遺存する可能性があったが、掘り下げを行ったところ、黒色土、褐色土、黒褐色土、明黄褐色土等が堆積していた。黒褐色土（6層）には径1～2 cm程度の円礫が含まれており、斜面下を流れる沢に係している可能性がある。褐色土（5層）上面で精査を行ったが、遺構は確認できなかった。また、遺物は出土しなかった。

03-02 T

03-02 Tは、03-01 Tの北方約10 mの斜面に、等高線に、直交して設定した。

約4.5 m南東方に県道446号線が通っており、03-02 Tと同様に造成土の存在が予想されたが、確認されなかった。腐植土下に黒色土、暗褐色土、にぶい赤褐色土、褐色土、明黄褐色土が堆積している。褐色土（7層）では径2～3 cm大の円礫が多く含まれており、03-01 Tの6層と同様に沢に由来したものと考えられる。暗褐色土（4層）上面で精査を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

03-03 T

03-03 Tは、03-02 Tから沢を挟んで約12 m北側に、等高線に平行して設定した試掘坑である。現状では、2本の沢に挟まれた場所であり、地下水位が高いことが想定された。

黒色土～黒褐色土が堆積するが、地表下約1.3 mより下層では青灰色土（砂粒や2～3 cm大の円礫を多く含む）が堆積しており、沢に由来したものと考えられる。自然堆積を示しており、遺構・遺物は確認されなかった。

03-01 T～03-03 Tは、沢に面した地形であり、地下水位が高いと想定したが、いずれも地表下約1.5 m程度から湧水が始まっており、比較的地下水位は低い。しかし、堆積状況を見ると、自然堆積の状況を示しており、一部に沢に由来すると考えられる、円礫を含む層や青灰色の土層が堆積するなどしており、沢の影響は受けていたと考えられる。いずれの試掘坑からも遺構・遺物は確認されていない。

03-04 T

03-04 Tは、03-03 Tの北方約11 mに設定した。東側3 mには径約3 mの落ち込みが遺存しており、規模・形状から近世以降の炭窯と考えられる。

黒色土（黒ボク）下ににぶい黄褐色土、明黄褐色土が堆積し、その下に黒褐色土・黒褐色土等が堆積し、さらにその下に明黄褐色粘質土が堆積している。黒褐色土（6層）は1～2 cmの小石を多く含んでおり、沢に由来する層である可能性がある。

炭窯は平面形が円形で、南西側に開口するもので、窯内側には石が積まれている。形状から、近世・近代のものと考えられ、周辺にたたらが確認されないことから、単独で存在したものと考えられる。

03-05 T

03-04 Tの北東約8 mの位置に設定した。03-04 Tに隣接して所在する炭窯の北東に、南西側が開いた窪みがある。本試掘坑は、窪みの南西端付近に設定して掘り下げた。

地表面下約0.7～1.0mで、黄橙色土が約10cm堆積していた。南東方向に拡張させた部分では、窪みの長軸に平行すると考えられる、幅60cmの溝状の落ち込み確認できた。他に落ち込みは確認されなかった。黄橙色土（3層）は、造成土であると考えられる。また、遺物は出土しなかった。このことから、この落ち込みはなんらかの遺構である可能性がある。隣接する炭窯との関係は不明であるが、隣接して存在することから、同時期のものと推測される。

黄橙色土の下に黒褐色土が堆積しており、その下に明黄褐色土（7層）が堆積している。この明黄褐色土上面で、幅0.8m、深さ0.3mの溝状の落ち込みを確認したが、落ち込みの中から遺物は出土しなかった。

03-06 T

03-06 Tは、要試掘範囲No.3のほぼ中央、南東部と北西部に流れる2本の沢の間の尾根の中央に等高線に直交して設定した。

腐植土の下に黒褐色土・黒色土が堆積しており、その中に暗褐色土が層状に堆積している。黒色土下には火山灰由来の黄褐色土～黄橙色土が堆積している。2層上面及び7層上面で遺構検出を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物も出土しなかった。

03-07 T

03-07 Tは、03-08 Tの東方約12.5mの位置に、設定した。北方約10mには沢が流れている。

腐植土の下に黒色土が堆積しているが、間に暗褐色土（3層）が堆積している。黒色土下には黒色土に1～2 cm大の小礫を含む層がある。その下は、黄褐色土層が堆積しており、地表下1.9m地点でわずかに湧水があった。暗褐色土層（3層）上面及び黄褐色土層（6層）上面で遺構検出に努めたが、遺構は確認されなかった。また、遺物も出土しなかった。

03-08 T

03-08 Tは、03-07 Tの北西約10mの位置に、等高線に、斜行するように設定した。腐植土下の黒色土中に黒褐色土が堆積している。黒色土下には火山灰由来の黄褐色土～明黄褐色土が堆積している。暗褐色土上面及び褐色土上面で遺構検出を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

03-09 T

03-09 Tは、03-08 Tの北西約15mの緩斜面に、等高線に斜行するように設定した。

腐植土の下には黒色土が堆積し、間に暗褐色土を挟む。黒色土下には黒色土及び暗褐色土に0.5～1.5cm大の小礫を含む層がある（7層・8層）。その下には黄褐色土、その下には青灰色シルトが堆積しており、水の流れがあったことが推測される。暗褐色土（3層）及び黄

褐色粘質土（9層）上面で遺構検出を行ったが、遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

03-10T

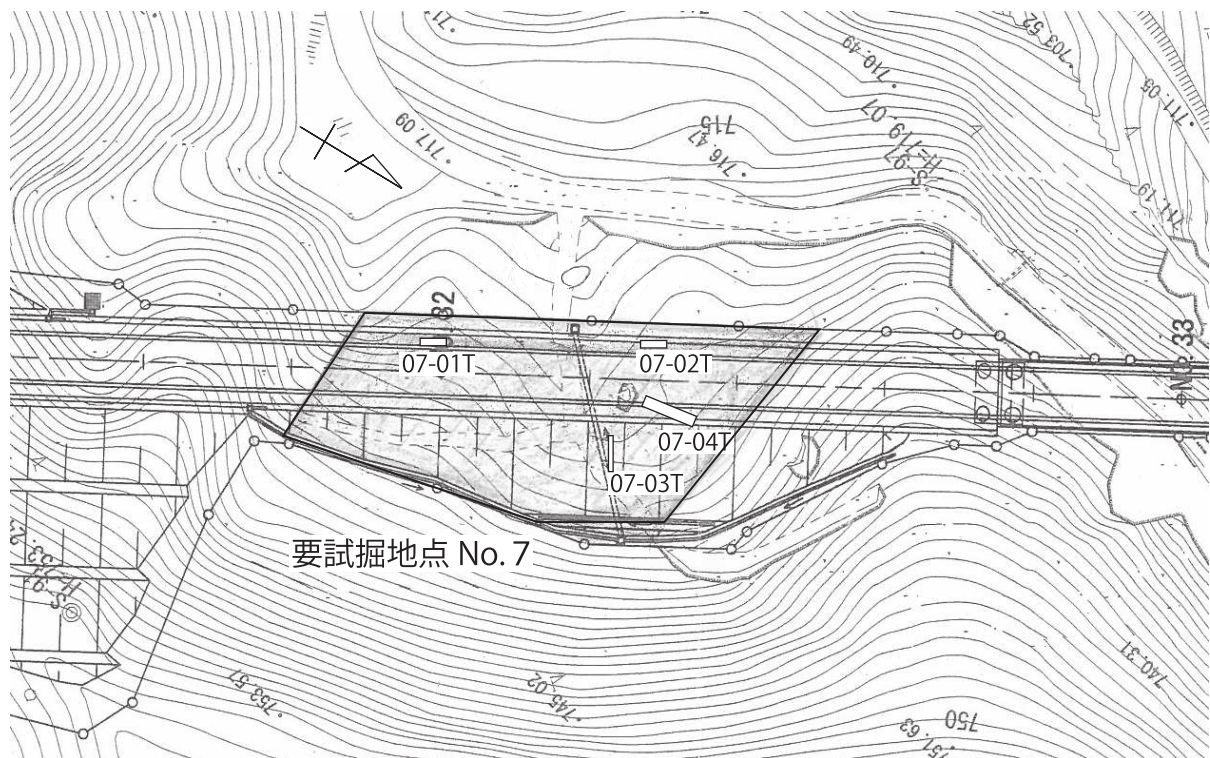
03-10Tは、03-08Tの北西方約12mの位置に設定した。南東から北西に向けて緩やかに下る緩斜面であり、現状ではわずかに溝状に窪んでおり、降雨時の流路となっている可能性がある。

腐植土下には黒色土（2層）が堆積しており、間に暗褐色土層（3層）を挟む。黒色土下には黄褐色土層が堆積しており（5層・7層）、間に黒褐色土を挟む。黄褐色土の下には黒褐色粘土があり、水が流れていたと推測される。

03-11T

03-11Tは、要試掘範囲北部を流れる沢の北側、やや平坦になった部分に等高線に直交して設定した。

腐植土直下に暗褐色土（2層）が堆積し、その下には3～5cm大の礫を多量に含む暗褐色土（3層）及び明褐色土（4層）が北西から南東に向けて下る傾斜を埋めるように堆積している。その下には黒色土（5層）が堆積しており、これが旧表土と考えられる。黒色土の下には30～50cm大の岩を多量に含む黒色土層がある。このことから、元は谷筋であり、斜面上方から岩などが転落していた地形であったが、谷が埋まるように3・4層が堆積し、現在の緩斜面になったと考えられる。遺物が出土していないことから埋まった時期は不明であり、人為的な埋め立てかどうかとも明らかでない。



第4図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.7）試掘坑位置図（1,000）

03-12T

03-12Tは、要試掘範囲北端の尾根上に設定した。

腐植土下に黒色土が堆積し、暗褐色土を挟む。黒色土下には黄褐色土が堆積している。

暗褐色土（3層）及び黄褐色土（7層）上面で遺構検出を行ったが、遺構は確認されなかった。遺物は出土しなかった。

(4) 要試掘地点No.7

要試掘地点No.7は、南北方向に延びる尾根の西側斜面に位置する。要試掘地点の東側及び西側は急斜面であり、要試掘地点付近のみ、やや傾斜が緩やかである。要試掘地点内では、北西部に傾斜が特に緩やかな地点があるほか、南西部には舌状の尾根の頂部が平坦な部分がある。一方、元的地権者が木を伐採した際に大きく地形が改変されて重機が通る道が造られており、要試掘地点中央部及び中央部から南東へ向けて大きく地面を削った道が造られている。

試掘坑は、比較的旧地形が残っていると考えられる北東部の斜面に2本、北西部の平坦面に1本、南西部の尾根上の平坦面に1本設定し、掘り下げを行った。

南西部の尾根上の平坦面のトレンチ（07-01T）は、尾根上の平坦面に設定した。長さ3.3m、幅1.0m、最大深度1.7mである。尾根上が平坦であったことから設定した。事業範囲の関係で、道の造成により盛土が行われた場所に設定した。表土の黒色土下及び黄褐色土上で遺構検出を行ったが、遺構は確認できなかった。旧地表面の下約50cmで湧水があり、湿潤な環境であったと考えられる。遺物は出土しなかった。

北西部の平坦面に設定したトレンチ（07-02T）は、腐植土下に黒色土が約80cm堆積し、その下には暗褐色土、黄褐色土が堆積している。暗褐色土上面及び黄褐色土上面で遺構の検出に努めたが、確認できなかった。遺物は出土しなかった。

北東部の斜面に設定した2本のトレンチ（07-03T・07-04T）は、黒色土・暗褐色土の下に黄褐色土が堆積している。暗褐色土上面及び黄褐色土上面で遺構の検出に努めたが、遺構は確認できなかった。07-04Tでは、黒色土内に橙褐色土が薄く広がっており、炭化物が集中して見られたが、橙褐色土上面で遺構は確認されなかった。また、遺物は出土しなかった。

要試掘地点No.7の北部では炭がまばらに見られたが、地表面観察では炭窯は確認されなかった。

表4 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.1）試掘坑所見

トレンチ名	規模 (長さ×幅×最大深度, m)	調査所見
01-09T	3.7×1.1×1.8	出土遺物なし
01-10T	5.0×1.3×1.8	出土遺物なし

トレンチ名	規模 (長さ×幅×最大深度, m)	調査所見
01-11T	4.0×1.3×1.8	出土遺物なし
01-12T	3.2×1.6×2.7	出土遺物なし
01-13T	3.3×1.1×1.8	出土遺物なし
01-14T	4.0×1.1×2.0	出土遺物なし
01-15T	2.9×1.2×2.3	出土遺物なし
01-16T	3.8×1.2×2.1	出土遺物なし
01-17T	3.8×1.2×2.2	出土遺物なし
01-18T	3.7×1.3×1.9	出土遺物なし
01-19T	2.7×1.5×0.5	出土遺物なし
01-20T	2.0×2.2×1.1	出土遺物なし

表5 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試験地点No.2）試験坑所見

トレンチ名	規模 (長さ×幅×最大深度, m)	調査所見
02-01T	4.0×1.2×1.9	出土遺物なし
02-02T	3.8×1.2×1.8	出土遺物なし

表6 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試験地点No.3）試験坑所見

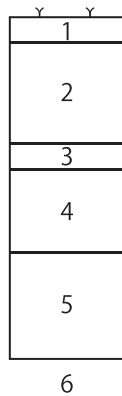
トレンチ名	規模 (長さ×幅×最大深度, m)	調査所見
03-01T	3.0×1.5×1.9	出土遺物なし
03-02T	4.0×1.4×1.8	出土遺物なし
03-03T	3.4×1.2×1.8	出土遺物なし
03-04T	3.7×1.5×1.9	出土遺物なし
03-05T	2.7×1.1×1.8	出土遺物なし
03-06T	3.3×1.2×2.0	出土遺物なし
03-07T	4.0×1.0×1.9	出土遺物なし
03-08T	3.0×1.0×1.9	出土遺物なし

トレンチ名	規模 (長さ×幅×最大深度, m)	調査所見
03-09T	4.0×0.8×1.7	出土遺物なし
03-10T	4.2×1.3×1.5	出土遺物なし
03-11T	3.0×1.3×1.9	出土遺物なし
03-12T	4.2×1.0×1.9	出土遺物なし

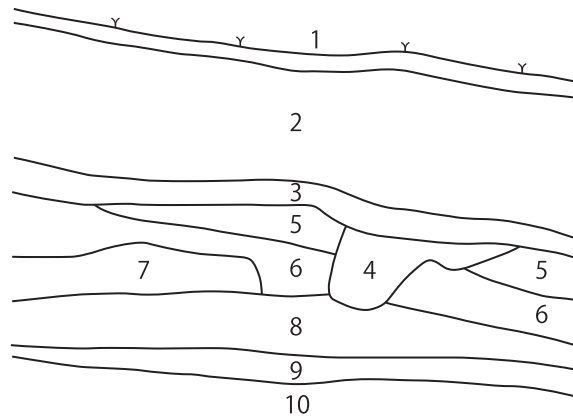
表7 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.7）試掘坑所見

トレンチ名	規模 (長さ×幅×最大深度, m)	調査所見
07-01T	3.3×1.0×1.7	出土遺物なし
07-02T	3.5×1.0×1.9	出土遺物なし
07-03T	4.8×1.0×1.9	出土遺物なし
07-04T	7.3×1.5×2.0	出土遺物なし

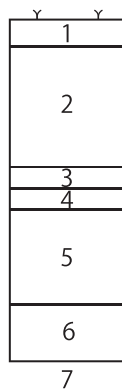
01-09T



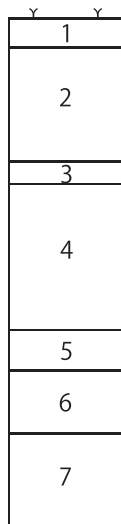
01-10T



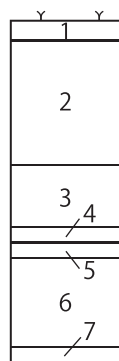
01-11T



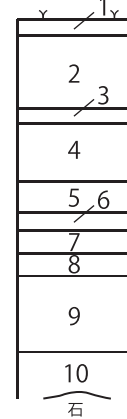
01-12T



01-13T



01-14T



01-09T 北壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/3 暗褐色土
- 4 7.5YR6/8 橙色砂質土
- 5 10YR5/6 黄褐色粘質土
- 6 10YR7/8 黄橙色シルト

01-10T 北壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/3 暗褐色土
- 4 10YR7/6 明黄褐色土（風倒木痕か）
- 5 7.5YR6/8 橙色砂質土
- 6 7.5YR5/8 明褐色砂質土
- 7 10YR5/8 黄褐色土（やや粘質）
- 8 10YR5/6 黄褐色粘質土
- 9 10YR6/6 明黄褐色シルト
- 10 10YR7/8 黄褐色粘質土

01-11T 北西壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/1 黒褐色土
- 4 10YR4/3 にぶい黄褐色土
- 5 7.5YR5/8 明褐色砂質土
- 6 10YR5/6 黄褐色粘質土
- 7 10YR7/8 黄橙色シルト

01-12T 北東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR2/3 黒褐色土
- 4 7.5YR1.7/1 黒色土
- 5 10YR2/3 暗褐色土
- 6 10YR5/8 黄褐色土
（30cm 大の石を多く含む）
- 7 10YR6/8 明黄褐色土

01-13T 北西壁

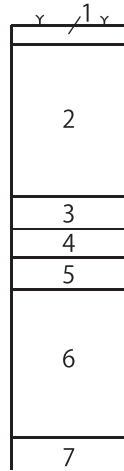
- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR2/3 黒褐色土
（30～50cm 大の石を多く含む）
- 4 10YR3/3 暗褐色土
（30～50cm 大の石を多く含む）
- 5 10YR5/4 にぶい黄褐色土
- 6 10YR6/6 明黄褐色土（しまりなし）
- 7 10YR6/8 明黄褐色シルト

01-14T 南西壁

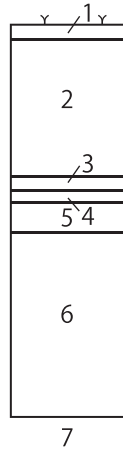
- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 7.5YR1.7/1 黒色土
- 5 10YR2/3 黒褐色土
- 6 10YR3/4 暗褐色土
- 7 10YR3/3 暗褐色土
（8層の土をブロック状に含む）
- 8 7.5YR6/8 橙色土
- 9 10YR6/6 橙色土
- 10 10YR6/6 橙色土
（やや粘質，50cm 大の石を多く含む）

第5図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.1）01-09T～01-14T土層断面図（1：40）

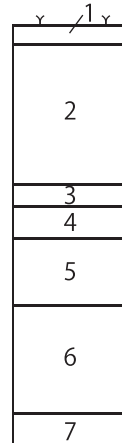
01-15T



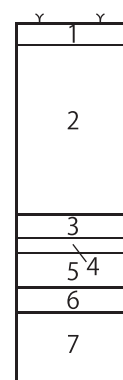
01-16T



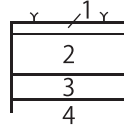
01-17T



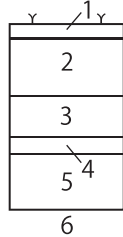
01-18T



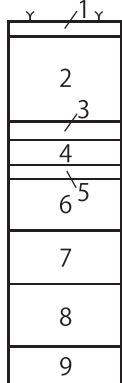
01-19T



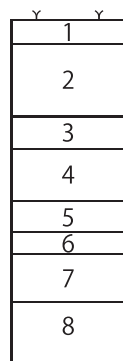
01-20T



02-01T



02-02T



01-15T 東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 7.5YR6/8 橙色土
- 5 10YR6/6 橙色土
- 6 10YR6/6 橙色土
(やや粘質, 50cm 以上の
岩を多く含む)
- 7 7.5YR7/8 黄褐色土
(やや粘質)

01-16T 北東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土 (黒ボク)
- 3 10YR2/3 黒褐色土
- 4 10YR3/4 暗褐色土
- 5 7.5YR4/6 褐色土
- 6 10YR6/6 明黄褐色土
(やや粘質)
- 7 7.5YR7/8 黄褐色砂質土

01-17T 南東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 10YR5/6 黄褐色土
- 5 7.5YR6/8 橙色砂質土
- 6 10YR5/8 黄褐色土
(やや粘質, 10~20cm 大の
石を多く含む)
- 7 10YR6/6 明黄褐色土

01-18T 南東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 10YR5/6 黄褐色土
- 5 10YR6/6 明黄褐色土
- 6 10YR4/4 褐色土
(やや粘質, 5~10cm 大の
石を多く含む)
- 7 7.5YR5/8 明褐色土
(5YR4/8 (赤褐色土) を縞状に含む)

01-19T 南壁

- 1 腐植土
- 2 7.5YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR2/3 黒褐色土
- 4 10YR1.7/1 黒色土
(旧表土)

01-20T 南壁

- 1 腐植土
- 2 10YR2/2 黒色土
- 3 10YR5/6 黄褐色土
- 4 10YR3/2 黒褐色土
- 5 N1.5/6 黒色土
(黄褐色土のブロックを含む)
- 6 10YR2/1 黒色粘土

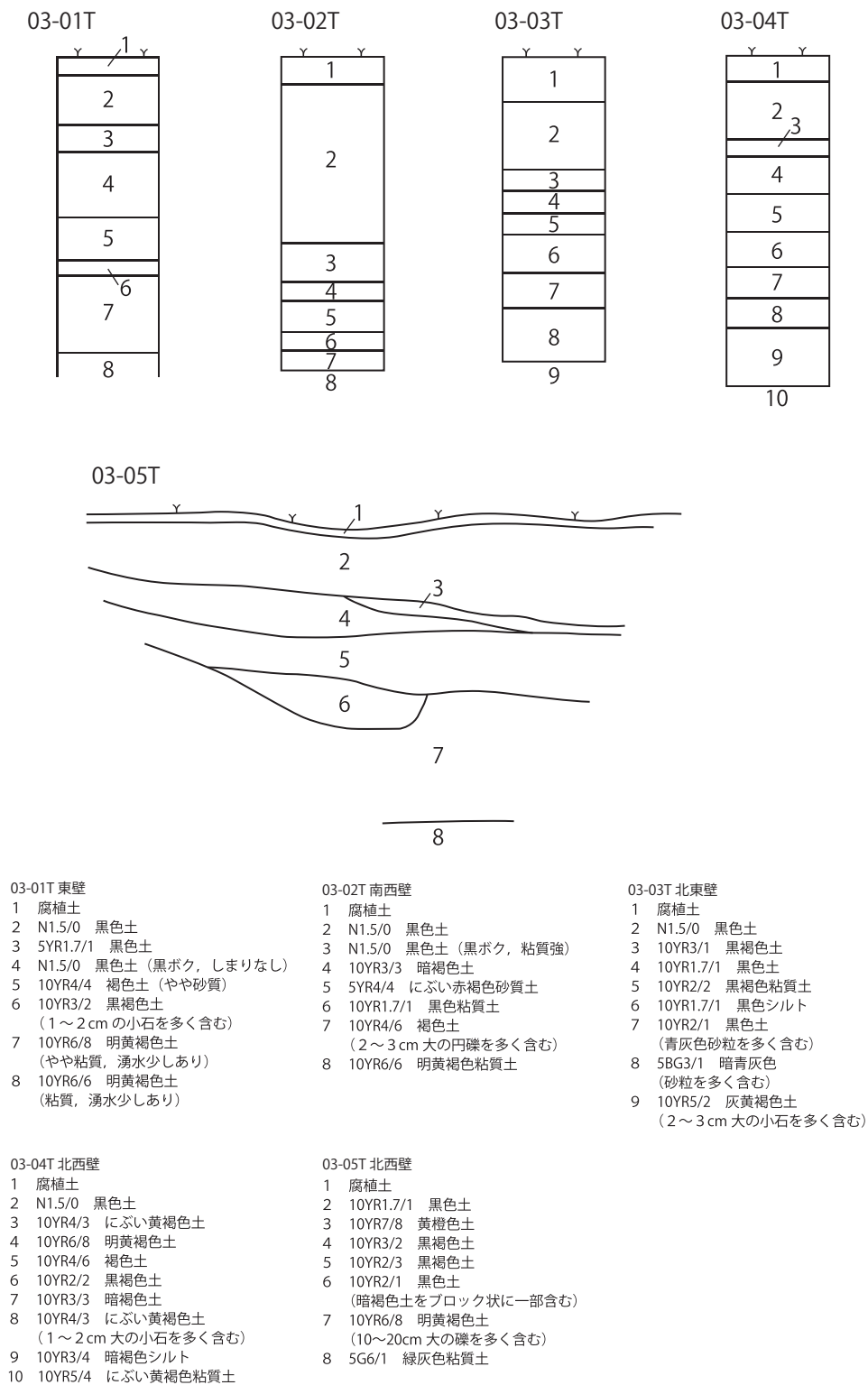
02-01T 南壁

- 1 腐植土
- 2 10YR2/1 黒色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 10YR1.7/1 黒色土
- 5 10YR3/3 暗褐色土
- 6 10YR5/8 黄褐色土
- 7 7.5YR5/6 明褐色土
- 8 7.5YR5/8 明褐色シルト
(30~60cm 大の岩を含む)
- 9 5BG6/1 青灰色シルト

02-02T 北壁

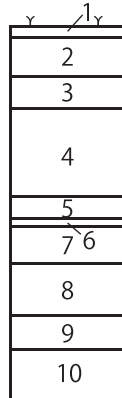
- 1 腐植土
- 2 10YR2/1 黒色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 10YR4/6 褐色土
- 5 10YR3/3 暗褐色土
- 6 10YR4/3 にぶい黄褐色土
- 7 10YR5/6 黄褐色シルト
- 8 10YR6/8 明黄褐色粘土

第6図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地(要試掘地点No.1, 2) 01-15T~02-02T土層断面図(1:40)



第7図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.3）03-01T～03-05T土層断面図（1：40）

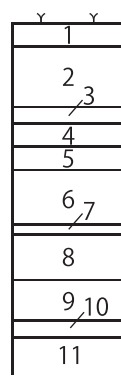
03-06T



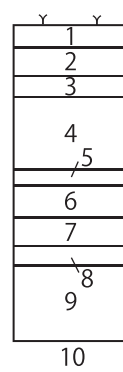
03-07T



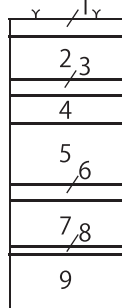
03-08T



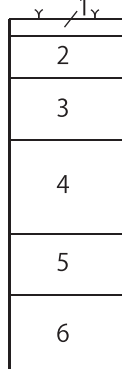
03-09T



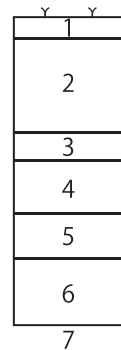
03-10T



03-11T



03-12T



03-06T 南東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR2/2 黒褐色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 10YR1.7/1 黒色土
- 5 10YR3/3 暗褐色土
(橙色土のブロックを多く含む)
- 6 7.5YR2/2 黒褐色粘質土
- 7 10YR4/6 褐色土
- 8 10YR7/8 黄橙色粘質土
- 9 10YR5/6 黄褐色土
- 10 10YR3/4 暗褐色土
(5mm 大の砂粒を多く含む)

03-07T 北壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/4 暗褐色土
- 4 N1.5/0 黒色土
- 5 10YR2/1 黒色土
(1～2cm 大の小礫を含む)
- 6 10YR5/6 黄褐色土
- 7 10YR5/8 黄褐色シルト
(1～2cm 大の小礫を含む)

03-08T 北西壁

- 1 腐植土
- 2 N1.5/0 黒色土
- 3 10YR2/2 黒褐色土
- 4 10YR1.7/1 黒色土
- 5 10YR2/1 黒色土
(1～2cm 大の根を多量に含む)
- 6 7.5YR4/6 褐色土
(5cm 大の小礫を少量含む)
- 7 10YR3/2 黒褐色シルト
- 8 10YR5/6 明褐色土
- 9 7.5YR5/8 明褐色土
- 10 10YR4/2 灰黄褐色土
- 11 10YR6/6 橙色粘質土

03-09T 北壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR3/3 暗褐色土
- 4 N1.5/0 黒色土
- 5 10YR3/1 黒褐色土
(砂粒を多く含む)
- 6 10YR1.7/1 黒色土
- 7 10YR2/1 黒色土
(0.5～1cm 大の礫を多く含む)
- 8 10YR3/4 暗褐色土
(1～1.5cm 大の根を多く含む)
- 9 10YR5/8 黄褐色粘土
- 10 10BG6/1 青灰色シルト

03-10T 北壁

- 1 腐植土
- 2 N1.5/0 黒色土
- 3 10YR3/3 暗褐色土
- 4 10YR1.7/1 黒色土
- 5 10YR6/8 明黄褐色土
- 6 10YR2/2 黒褐色土
- 7 10YR5/6 黄褐色土
- 8 10YR5/8 黄褐色粘土
- 9 10YR3/1 黒褐色粘土

03-11T 南東壁

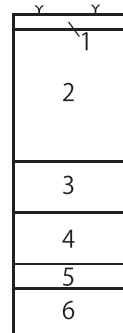
- 1 腐植土
- 2 10YR3/4 暗褐色土
- 3 10YR3/3 暗褐色土
(3～5cm 大の礫を多量に含む)
- 4 7.5YR5/6 明褐色土
- 5 N1.5/0 黒色土 (旧表土)
- 6 N1.5/0 黒色土
(30～50cm 大の岩を多量に含む)

03-12T 北壁

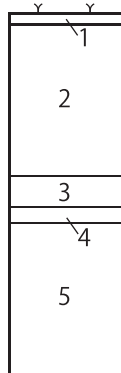
- 1 腐植土
- 2 N1.5/0 黒色土
- 3 10YR3/3 暗褐色土
- 4 10YR1.7/1 黒色土
- 5 7.5YR5/8 明褐色土
- 6 10YR2/3 黒褐色土
- 7 10YR6/8 黄褐色土

第8図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地(要試掘地点No.3) 03-06T～03-12T土層断面図(1:40)

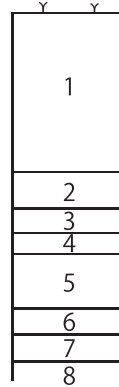
07-01T



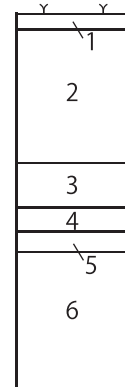
07-02T



07-03T



07-04T



07-01T 南西壁

- 1 腐植土
- 2 7.5YR2/2 黒褐色土
- 3 1 0YR1.7/1 黒色土
(黒ボク)
- 4 7.5YR2/3 暗褐色土
- 5 5YR2/2 黒褐色粘質土
- 6 10YR5/8 黄褐色土

07-02T 北東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
(黒ボク)
- 3 10YR2/2 黒褐色土
- 4 10YR3/3 暗褐色土
- 5 10YR5/8 黄褐色土
(やや砂質)

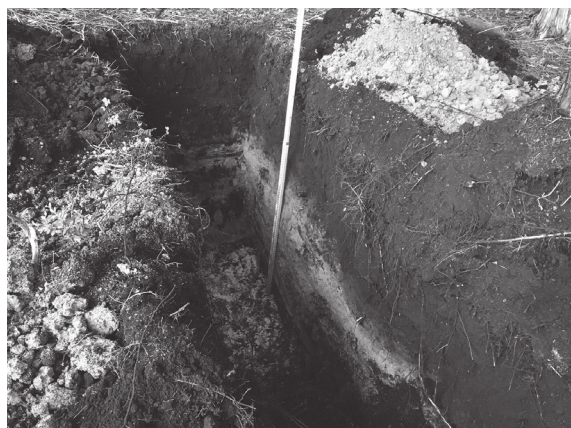
07-03T 北西壁

- 1 7.5YR2/1 黒色土
(造成により移動した土)
- 2 5YR1.7/1 黒色土 (旧表土)
- 3 N1.5/0 黒色土
- 4 5YR1.7/1 黒色土
(橙色砂粒を含む)
- 5 5YR1.7/1 黒色土
(橙色砂粒を含む, やや粘質)
- 6 7.5YR3/2 黒褐色土
(黄褐色砂粒を含む)
- 7 7.5YR4/3 褐色土
(黄褐色砂粒を含む)
- 8 10YR5/8 黄褐色土

07-04T 東壁

- 1 腐植土
- 2 10YR1.7/1 黒色土
- 3 10YR2/2 黒褐色土
- 4 10YR3/3 暗褐色土
- 5 10YR5/8 黄褐色土
- 6 10YR5/8 黄褐色土 (粘質強い)

第9図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.7）07-01T～07-04T土層断面図（1：40）



a 01-09T (南東から)



b 01-10T (西から)



c 01-11T (東から)



d 01-12T (西から)



e 01-13T (南から)



f 01-14T (東から)



g 01-15T (北西から)



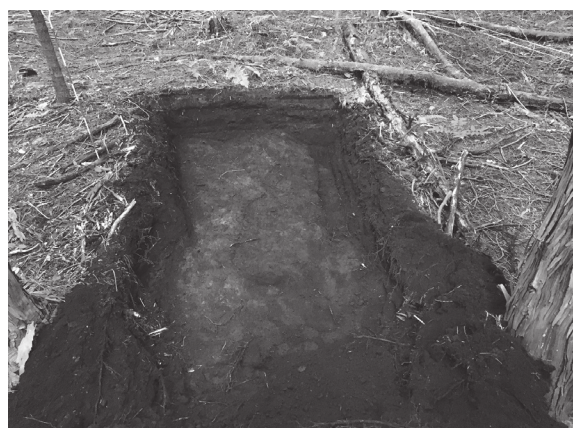
h 01-16T (西から)



a 01-17T (西から)



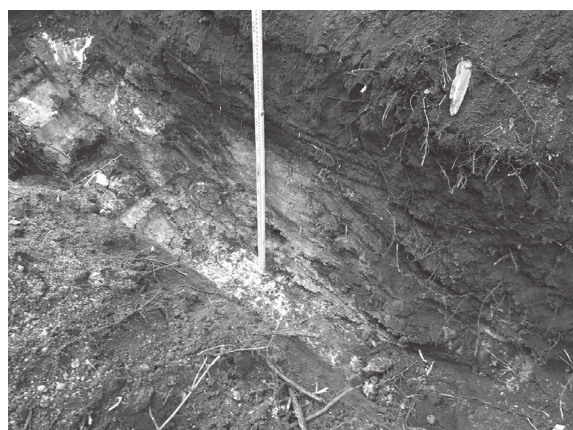
b 01-18T (西から)



c 01-19T (北東から)



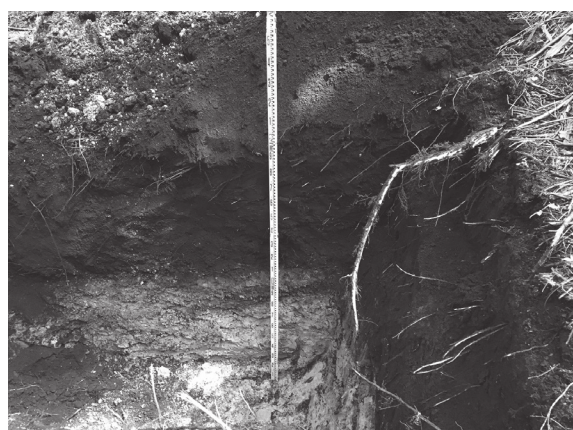
d 01-20T (北から)



e 02-01T (北東から)



f 02-02T (南東から)



g 03-01T (南西から)



h 03-02T (北から)